

● 取組事例詳細

企業／団体名称	株式会社江東微生物研究所
主要業種	食品関連以外

公開日：2017年06月07日

「協働の着眼点」に照らした取組内容（「ベーシック16」）

1 お客様を基点とする企業姿勢の明確化

「お客様の笑顔が私たちの喜び」「お客様の信頼が私たちのプライド」をスローガンに掲げています。「お客様のパートナーになる」「迅速に対応する」「情報を武器にする」をコンセプトとし全社員に朝礼等で周知徹底しています。



2 コンプライアンスの徹底

コンプライアンスについては、ISO27001認証を取得し、ISMS委員会や総務部において関係法令遵守の徹底をはかっています。

社内に関するコミュニケーション

3 安全かつ適切な食品の提供をするための体制整備

「安全かつ適切な食品検査結果の提供をするための体制整備」の取組
食品分析センターではISO17025を取得し、公定法に基づいた検査法によって高精度な検査機器、教育された検査員の確保、安全対策によって正確で信頼性の高い検査データを継続してご提供しています。内部監査や外部精度管理も定期的を実施し、検体の取り扱いや検体搬送体制についても研修・勉強会で情報の共有化をはかっています。



4 調達における取組

「微生物検査室における取組」
前室～エントリー室～非汚染区域～汚染区域と検査室が直線状に配置されているほか随所に滅菌灯や自動手洗いが設置され、外部からの菌をシャットアウトします。また、汚染区域にはバイオハザード対策用安全キャビネットが設置され、万全な二次汚染対策がなされています。また検査室内の空気は24時間フィルターを通して排気し、下方排気式ドラフトチャンバー、バイオハザードキャビネットなどを随所に配備し、安心して働ける快適な作業環境のもと信頼性の高い検査データをご提供します。



非汚染区域検査室 広々とした微生物検査室は作業効率を高めます。

5 製造における取組（製造）

保管・流通における取組（卸売）

調理・加工における取組（小売）

「理化学検査室における取組」

お客様の製品管理をサポートするため、蛋白質を抽出測定する蛋白質分析装置や食品のミネラル成分を測定する原子吸光光度計、脂肪を抽出測定する脂質抽出装置、その他、高速液体クロマトグラフィーなど、先進の機器と優れた技術を擁した専門スタッフが高精度の検査データをご提供します。



下方排気式ドラフトチャンバー 職場の安全性を確保するために、クロロホルムなどの重い気体が生じる前処理には、気体を下方から吸い込む方式のドラフトを採用しています。

6 販売における取組

「異物検査室における取組」

異物検査では、とことん追及する探究心と豊富な経験、知識を擁する専門スタッフが、科学的根拠に基づいたより確かな検査結果をご提供しています。



積み重ねた経験と知識がより確かな検査結果につながります。

取引先に関するコミュニケーション

7 持続性のある関係のための体制整備

弊社の検査施設はいつでも見学していただけるオープンな体制をとっており、検査がどのように進められているかご確認していただけます。

8 取引先との公正な取引

契約に関しては検査の仕様等を各部署が確認した後、見積書もしくは入札書を提示させていただいています。取引の締結において取引先からの要望により契約書の取り交わしも行っています。

9 取引先との情報共有、協働の取組

お取引先のご要望に応じて勉強会や施設見学等、営業、検査、事務部門ともに情報交換の場を設け、信頼性の高い検査データのご提供に取り組んでいます。またインターネットを活用した微研Webシステムによって検査の進捗状況や結果データを迅速に閲覧していただけます。

お客様に関するコミュニケーション

10 お客様とのコミュニケーションのための体制整備

検査施設では施設見学の際にお客様からのご意見やご要望をいただいております。各営業所では窓口対応や検体集配時のお客様とのコミュニケーションにより生の声をお伺いしています。

11 お客様からの情報の収集、対応、管理

お客様からの声は、Webでのグループセッションなどによって各営業所や関係する部署へ伝達され、社として取り組むべき事項やお客様のご要望は各営業所の責任者が毎月参加する責任者会議等で報告し、経営側へ吸い上げられる仕組みになっています。

12 お客様への情報提供

弊社のホームページや微研Webシステム、また各種インフォメーションによって臨床検査から環境検査に至るまでトータルにバックアップする情報を発信しています。

URL : <http://www.koutou-biken.co.jp>

13 食育の推進

弊社のグループ会社の株式会社アップルケアネットでは調剤薬局チェーンを展開するとともに管理栄養士が栄養指導を行い、「すこやか通信」の発行を通じ、食事や栄養など食育に関する情報を発信しています。

URL : <http://www.applecarenet.jp/sukoyaka/index.html>

緊急時に関するコミュニケーション

14 緊急時を想定した自社体制の整備

本社や各事業所に災害対策委員会を設置し、各部門の責任と役割が明確になっています。また、万一の事態にも対応できるよう、災害対策マニュアルに基づき、年一回各種訓練を行っています。

15 緊急時の自社と取引先の協力体制の整備

お取引先とは、常にコミュニケーションをとり、緊急時の対応についてお互いが認識し、確認させていただいています。水質検査では災害等での緊急検査において営業部門や検査関連部署、同業他社とも連携したバックアップ体制を構築しています。

16 緊急時のお客様とのコミュニケーション体制の整備

緊急事態におけるマニュアルに基づき、お客様への迅速な対応をおこなう体制を整備しています。